年間授業計画 新様式例

数料 理料 の目標: の目標: 「知力を人間生活」 実教出版 の目標: 「知 譲 及 び 技 能 】 身に付けるようにする。 「思考力、判断力、表現力等】 観察についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を「思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 「学びに向かう力、人間性等」 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 科目 科学と人間生活 の目標: 「知識おびは知り

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探			
生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。		究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			

	の女能で多に切りるようにする。									
	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当 時数			
	【知識・技能】 原子の構造、化学結合について理解 レており、物質の性質と関係してい ることを理解する。 旧場・判断・表現】 結合の仕組みを理解し、構造式をか くこができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 基常的に反響に参加する。	原子の構造 化学結合	【知識・技能】 原子の構造、化学結合について理解してお り、物質の性質と関係していることを理解して に 思考・判断・表現】 結合の仕組みを理解し、構造式をかくことが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 整故的に度楽に参加している。	0	0	0	3			
	加端・技能 参の回りの企脈についてその製造法 や資源の再利用について理解する。 実験操作を正能に行うことができる ようにする。 12巻、判断・表現! イオンに傾向を理解し、実験におい 大反応を予測したり、変化の様子から 会馬の性質を考察することができるようにする。 「学びに向かう力、人間性等 実験化に終い。実知する。	金属の性質 全属の智能 全属のマイオン化傾向	知識・技能 季の回りの企属についてその製造法や資源の 再利用について理解している。 実験操作を正能に行うことができる。 【思考・判断・表現】 イナン化傾向と理解し、実験において反応を 予測したり、変化の様子から金属の性質を考 東することができる。 【主体的に学習に取り報む態度】 意欲的に授業に参加している。	0	0	0	4			
1	定期考査			0	0		1			
学期		プラスチックの性質 プラスチックの構造 プラスチックと環境 新素材としてのプラスチック セラミックス	【知識・技能】 プラスチック・セラミックスについてその製造法や資源の再利用について理解している。 【理考・判断・表理】 天然にある素材と人工的に作り出した素材が 日常生活の中でどのように使われているかを 考え、表現・することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に授業に参加している。	0	0	0	4			
	本品と玄料 「知識・技能」 生品や玄料を根成する物質の多くが 新分子化合物であること理解、 総高分子化合物と合成高分千化合物 に分類することができるようにす 「思考・判断・表現] 酵素の実験の技能を習得し、酵素の 性質や特徴を参覧することができる ようにする。 「学びに向かう力、人間性等」	高分子化合物 完養素 炭炭水化物 タンパク質	知識・技能) 集品や本料を構成する物質の多くが高分子化 合物であること理解し、天然高分子化合物と の能高分子化合物と 打選者、判断・表現1 職事の実験の支援を含習得し、酵素の性質や特 酸を考察することができる。 【主体的に学習に取り組え極度】 最初に保留に取り組え極度】 最初に保留に取り組え極度】	0	0	0	6			
	定期考查			0	0		1			
	第品と衣料 「知識、技能」 技能中の成分や衣料材料についてそ も、またその次や構造の違いからな 生する性質の違いを理解していた 生ずる性質の違いを理解し、それぞ結 に適切に利用できるようにする。 程思考、判断、表現1 ような穀粉を見しているが空智と 追して総合的に判断し、表現する 連して総合的に判断し、表現する にで高からいたする。 【学びに向かう力、人間性等】 変統的に要素に参加する。	脂質 酵素 女料に用いられる繊維 天然繊維 化学繊維	【知識・技能】 食品中の成分や衣料材料についてそれぞれの 食品中の成分や衣料材料について。またその成分や 構造の強いから生ずる性質の違いを理解し、 それぞれの性質の良さを見極めて日常生活に 温切に利用できる。 【思考・判断・表現】 食品中の成分が生命体においてどのような役 新を果たしているか学習を通いたさらかに判 断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む極度】 整欲的に授業に参加している。	0	0	0	5			
2	熱の性質とその利用 1知職・技能 1知職・技能 熱と温度とを区別でき、熱の性質を よれに関わる襲象は下歴史から理解し、日常生活に適切に利用できる 上方にする。 【思考・判断・表現】 「程の国りに熱に関わる現象を見出 し、熱の性質から科学的に思考し、 熱を有効利用できるように対し を名が利用できるようにある。 【学びに向かう力、人間性等】 該欲的に契集に参加する。	温度と熱 然の伝わり方 熱運動	知識・技能】 熱と温度とを区別でき、熱の性質をこれに関 おる現象および歴史の選解し、日常生活に 達別に利用できた。 「里考・判断・夫現」 のの回りに窓に関わる現象を見出し、熱の性 第から科学的に思考し、熱を有効利用できる 1. 古本物ができる。 1. 古本物ができる。 は、記述を記述を記述を記述を記述を が、記述といる。	0	0	0	3			
期	正期考查			0	0		1			
	熱の性質とその利用 「知識及び投機」ることと、保存 することを理解できる。また、その せてることを理解できる。また、その 性質を利用して科学技術が発展した ことを理解する、表現力等 物質の熱容量、比熱、熱量の保存 ついて理解させ、これら告計算する こができるようにする。 工学びに向かう力、人間性等 意欲的に授業に参加する。	熱量 熱容量 比熱 熱量の保存	「知識・技能」 エネルギーが変換することと、保存すること を理解できる。また、その性質を利用して科 学技術が発展したことを理解している。 【思考・判断・表現】 朝宮 然春章 比熱、熱量の保存について理 【主体的に学家に取り組む聴息】 藍統的に授業に参加している。	0	0	0	7			
	熱の性質とその利用 「知識及び状態」なことと、保存 することを理解さる。また、その せてることを理解する。また、その 性質を利用して科学技術が発展した ことを理解す、表現力等 が質の熱容差、比熱、熱量の保存 ついて理解させ、これを計算する こをができるようにする。 「学びに向かう力、利用性等」 登成的に発展に参加する。	エネルギー エネルギーの変換と利用	「知識・技能」 エネルギーが変換することと、保存すること を理解できる。また、その性質を利用して科学技術が発展したことを理解している。 「思考・判断・表現」 を は、 ・	0	0	0	4			
L	定期考査			0	0		1			
3 学期		山地の形成 平地の形成 ブレートテクトニクス 大山活動 自然災害	「知識・技能」 自然系観の成成や日本列島の成り立ちとその 変化について理解し、自然表観の思恵と自然 災害のリスクを興奮できる。 「思考・判断・表現」 身近な自然気配を適切に観察し、結果や考察 を的確に表現できる 「土体的に変現できる」 意欲的に授業に参加している。	0	0	0	13			
20	定期考査			0	0		1			
							合計 54			